

## 対応状況報告書

大 学 名：東京藝術大学

評価実施年度：令和6年度

報 告 年 度：令和7年度

対象となる基準	基準3-6
改善を要する点	○学校教育法施行規則第172条の2に規定された教育研究活動等の情報公表のうち、一部の教員の業績が公表されていない。
対応状況	<p>・令和7年4月1日時点で本学に所属するすべての教員の学位及び業績が本学ウェブサイトに記載されており、改善されている。 (URL: <a href="https://www.geidai.ac.jp/outline/staff">https://www.geidai.ac.jp/outline/staff</a>)</p> <p>改善を要する点の指摘に先立って改善対応に取り組んでおり、まず令和7年3月31日時点で本学に所属するすべての教員に業績情報の更新及び公表依頼を行った。その後、令和7年3月31日時点で本学に所属するすべての教員の学位及び業績が本学ウェブサイトに記載され、公表状況が適切であることを令和7年度第1回企画・評価室会議で確認した。</p> <p>また、令和7年4月1日に着任した教員の学位及び業績についても対象教員に対応依頼を行い、対象教員の学位及び業績が本学ウェブサイトに記載され、公表状況が適切であることを令和7年度第1回企画・評価室会議で確認した。</p> <p>今後着任した教員の学位及び業績の掲載についても、順次対応依頼を行い、引き続き情報の公表に適切に取り組んでいく。</p> <p><b>【根拠資料・データ】</b> 3-6-1-06_令和6年度実施機関別認証評価 評価結果を踏まえた課題に対する改善計画及び進捗状況（令和7年度第1回企画・評価室会議資料）</p>

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。

3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。